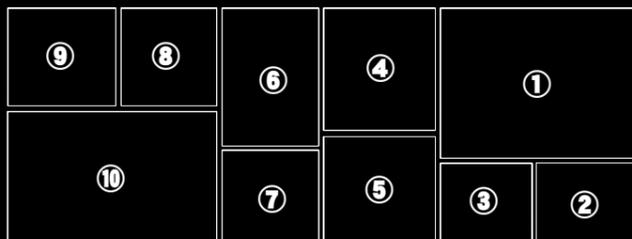




### 被害状況写真

①護岸の決壊（受乞川）、②護岸の決壊（元神部川）、③法面の崩落（町道大狩部本郷井籜線）、④道路の崩壊（町道大狩部本郷井籜線）、⑤道路の流出（町道明和前川林線）、⑥道路の冠水（町道大狩部本郷井籜線）、⑦道路の冠水（町道万世新冠線）、⑧放牧地の冠水（大富地区）、⑨高潮で打ち上げられた流木の堆積所、⑩道路の冠水（町道新栄古岸線）



## 新冠町ホームページ 災害関連情報の掲載

町では、今後、町民の皆さんにいち早く災害に関する情報を提供するため、町ホームページに災害関連情報ページを設置することとなりました。

災害関連情報は、町が災害対策本部を設けた時に情報掲載を開始し、町ホームページのトップ画面左上にある緊急情報に「災害関連報があります」をクリックすると詳細が見れるようになります。

避難指示などの避難情報や避難所の開設状況、道路の通行止め情報などを掲載することとしますので、災害時などに活用してください。

特集記事や災害関連情報についてお問い合わせがありましたら、担当までお問い合わせください。

（問い合わせ先：企画課まちづくりG広報統計係 ☎ 0146・47・2498）

## 被害総額と内訳（10月14日現在）

**被害額総額：10億7351万円**

**土木施設被害額：8億1309万円**

内訳：応急復旧による重機借上、調査設計委託業務、道路・河川・明渠などの災害復旧工事、流木除去、河川用地測量業務委託など

**水道施設被害額：1150万円**

内訳：応急復旧による重機借上、簡易水道、水道施設災害復旧工事など

**農林水産業：被害額2億4892万円**

内訳：農地の冠水や土砂・流木等の流入、附帯する排水路や農道、牧柵など農業用施設の被害、漁船被害、林道・治山施設・牧野管理道路に係る復旧費など

7月の豪雨に続き、8月の3度の台風の影響により、町内各地で大きな被害が発生しました。  
9月に開かれた第3回定例会、及び、10月に開かれた第2回臨時会で報告された被災状況をまとめてご報告します。  
土木施設については、道路の冠水や路肩の決壊・流出、法面の崩落、側溝の埋塞、小沢からの土砂の流出、一部河川の氾濫、河岸決壊、既設護岸の破損などの被害が発生しました。被害総額は、現段階で8億1千万円に上りますが、今後、国から4億円程度の補助を受けることとなります。  
水道施設は、台風9号の影響により共栄地区の配水管が破損し、8月23日早朝から26日の夕方まで断水しました。この間、地域の方々には、共栄生活館に設けた給水所に足を運んでいただくこととなり、ご不便をおかけしました。  
農業被害については、田・畑・草地・ビニールハウスなど約152haの農地が、冠水や土砂・流木の流入の被害を受け、一部の農場では農作物の収穫ができなくなりました。また、付帯する排水路や農道、牧柵などの農業用施設も大きな被害を受けました。

漁業被害については、漁船1隻が転覆、1隻が船尾を破損、また、荷捌所の排水設備などの土砂流入、昆布干場の土砂堆積による被害がありました。  
現在のところ漁業資源への影響は不明ですが、今後の漁獲への影響も懸念される状況です。  
町が所管する林道、治山施設の被害は、林道14路線、林業専用道路1路線、治山施設26か所に被害を受けており、また、町有牧野については、管理道路の決壊、牧野内への土砂の流入などの被害が発生しています。  
台風による豪雨と高波の住宅への被害状況としては、家屋の全壊が1棟、床上浸水が7棟、床下浸水が18棟となっており、被災家屋に対し消毒・防疫作業を行いました。また、被災家屋からは、6トントラックおよそ12台分の被災ゴミを回収しました。  
当町がこの様な甚大な台風被害が発生したのは、平成15年8月の台風10号以来となりました。  
町内には、今なお、通行止めの道路があるなど被災した影響が残っていることから、町は一日も早い完全復旧に向けた取り組みを進めています。

平成28年夏

# 台風と豪雨による被害状況